

「せんだい電子図書館」の学校利用について

「せんだい電子図書館」を市立学校でも手軽に利用できるよう、令和4年6月に各学校専用の特別利用IDを送付した。6月から10月までの統計データとともに、利用状況を報告する。

1 校種別の利用統計と活用状況（令和4年6～10月）

小学校	6月	7月	8月	9月	10月
ログイン	636	554	860	1263	1204
貸出	419	639	284	616	566
閲覧	1423	1403	1401	1866	1890

利用研修会を7校で実施。小学校は教育重点目標の中に「読書活動の推進」を入れている学校もあるため、朝読書の中でも授業でも使いたいという声が多くあがった。

中学校	6月	7月	8月	9月	10月
ログイン	22	43	24	97	8
貸出	7	31	3	90	5
閲覧	22	105	10	138	6

利用研修会を1校で実施したところ、夏休み明けから朝読書で利用されているほか、学校だよりで保護者に向けても利用登録を促していただいた。

※この統計データは学校に配布した特別利用IDを使用しているものである。児童・生徒が自分で持っている利用者カードを使用しているものは含めない。

※「閲覧」は朝読パック等の何人でも同時に読むことができる電子書籍のもの。

2 授業での利用について

せんだい電子図書館サービスを授業でも活用したいという声が多く上がり、その多くが、児童・生徒に大型モニターで投影したいということだった。

このため、著作権の問題に関して、学校（教職員）から市民図書館にGoogleFormsを使用して事前申請を行い、市民図書館で電子図書館サービス事業者の許諾を得るよう整理した。

なお、オンライン授業での使用、電子書籍の加工・保存、ワークシートへの利用は、現在のところ不可としている。

授業利用に関しては、学校からの問い合わせ等をもとに今後、注意事項をまとめたQ&Aを作成して学校に広報していく予定である。

今後も、学校図書館関係職員が集まる場で研修会を開催したり、希望のあった学校に出向いて説明を行ったりするなどの広報を行うとともに、授業等で活用方法について関係機関と協議・連携しながら、学校での利用につなげていきたい。